

# 2014年度 産業向け財・サービスの内外価格調査

平成27年5月21日  
経済産業省  
経済産業政策局調査課

経済産業省では、我が国の価格構造の実態把握の一環として、1993年以降、産業向け財・サービスの内外価格調査を行っており、以下のとおり2014年度調査の結果を取りまとめた。

## 1. 結果の概要

- 2014年度調査における内外価格差は、総合で1.78倍の内外価格差となった。内訳をみると、中国2.51倍、韓国1.77倍、米国1.55倍、ドイツ1.31倍の順に高い。
- 「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較すると、いずれの地域においても産業向けサービスが工業製品等を上回り、その比率は平均で1.79倍となった。
- 内外価格差を前回調査(2012年度調査;以下「前回」という)と比較すると、4か国いずれの国においても縮小した。

## 2. 調査の概要

- (1) 調査対象国・地域: 米国、ドイツ、韓国、中国
- (2) 調査対象品目: 工業製品等 220品目・スペック、産業向けサービス 60品目・スペック
- (3) 調査時点: 2014年7~9月
- (4) 調査価格: 需要家渡し価格(一部、工場出荷価格等)
- (5) 為替レート: 2014年7月~9月における各国の平均為替レート

### 為替レート出所

・対米国	1ドル	=	104.04(78.60)円	(Federal Reserve Board)
・対ドイツ	1ユーロ	=	137.74(98.30)円	(European Central Bank)
・対韓国	1ウォン	=	0.101(0.069)円	(The Bank of Korea)
・対中国	1元	=	16.88(12.42)円	(State Administration of Foreign Exchange)

注:( )内は2012年7月~9月の平均為替レート

### 3. 調査結果

#### (1) 内外価格差の現状

－内外価格差は、全地域平均で 1.78 倍。最も高い中国が 2.51 倍。－

内外価格差は、全地域平均で 1.78 倍となった。内訳をみると、米国 1.55 倍、ドイツ 1.31 倍、韓国 1.77 倍、中国 2.51 倍となった。

また、「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較してみると、いずれの地域においても、産業向けサービスが工業製品等を上回ったことから、産業向けサービスの内外価格差が工業製品等を平均で 1.79 倍上回った。

表1 分野別・業種別の内外価格差(2014年度)

(単位:倍)

		米国	ドイツ	韓国	中国	平均
総	合	1.55	1.31	1.77	2.51	1.78
	工業製品等	1.38	1.05	1.47	1.63	1.38
	素 材	0.91	1.05	1.21	1.49	1.16
	加工・組立	1.25	1.21	2.02	2.14	1.65
	エネルギー	2.49	0.89	1.44	1.39	1.55
	産業向けサービス	1.87	1.79	2.32	4.14	2.53
産業向けサービス ／工業製品等(倍)		1.36	1.70	1.58	2.54	1.79

表2 分野別・業種別の購買力平価(2014年度)

(単位:円/現地通貨)

		米国	ドイツ	韓国	中国
総	合	161.38	179.97	0.179	42.31
	工業製品等	143.41	144.42	0.149	27.53
	素 材	94.93	144.03	0.122	25.22
	加工・組立	130.33	166.25	0.205	36.05
	エネルギー	258.76	122.62	0.146	23.54
	産業向けサービス	194.79	246.09	0.235	69.80
2014年7月～9月における 各国の平均為替レート		104.04	137.74	0.101	16.88

$$\text{内外価格差} = \frac{\text{日本での価格 (円)}}{\text{海外での価格 (現地通貨)} \times \text{為替レート (円/現地通貨)}}$$

$$\text{購買力平価} = \frac{\text{日本での価格 (円)}}{\text{海外での価格 (現地通貨)}}$$

## (2) 内外価格差の推移(総合)

—総合の内外価格差は、4か国いずれの国も縮小し、中国、韓国で大きく縮小。—

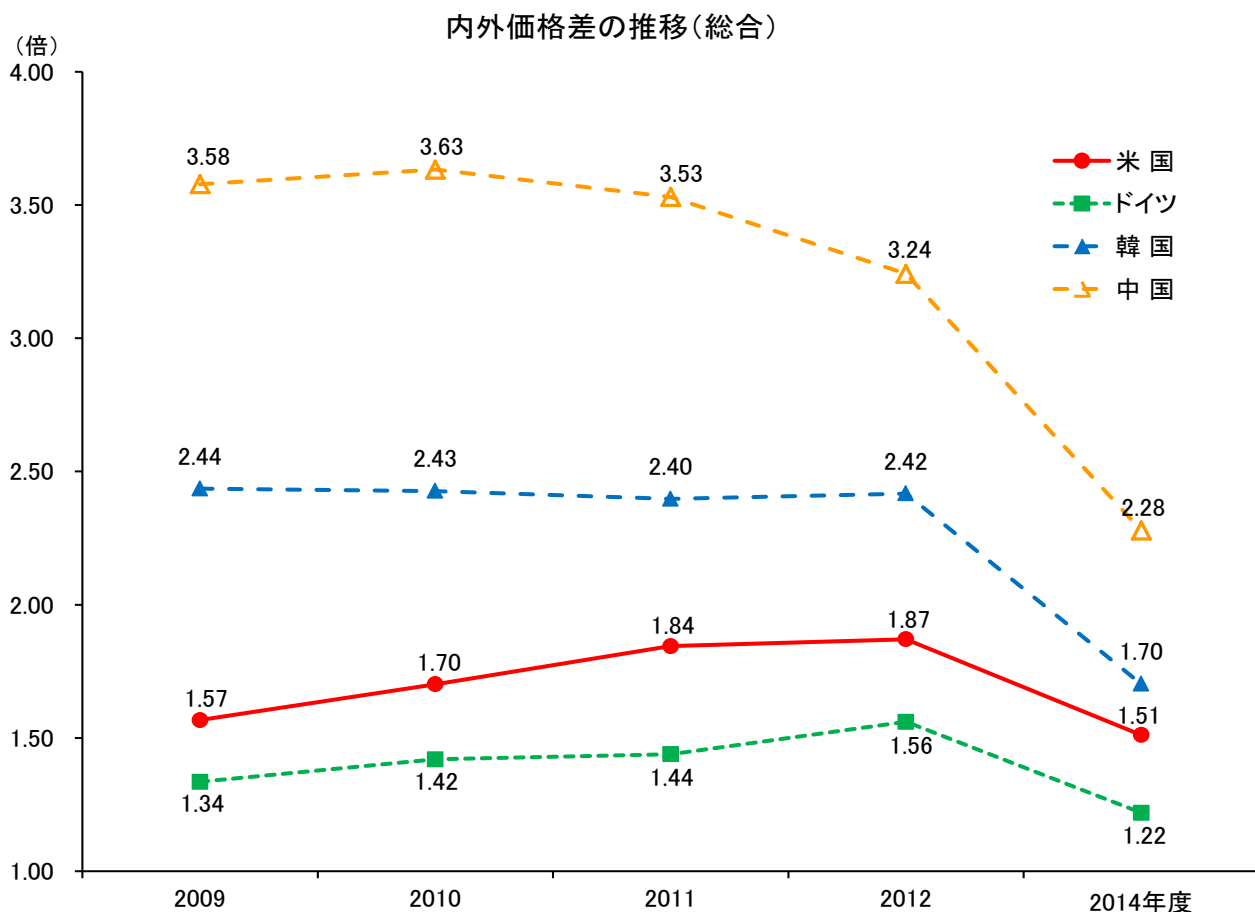
総合の内外価格差を前回と比較すると、4か国いずれの国においても縮小した。このうち中国では前回と比較し▲0.96ポイント、韓国は同▲0.72ポイントと大きく縮小。米国とドイツはともに▲0.3ポイント台にとどまった。

購買力平価は中国に対して増価、他の3か国に対しては減価となっている。

	米国	ドイツ	韓国	中国
2012年度	1.87	1.56	2.42	3.24
2014年度	1.51	1.22	1.70	2.28
差	▲0.36	▲0.34	▲0.71	▲0.96

	米国	ドイツ	韓国	中国
2012年度	147.02	153.38	0.168	40.25
2014年度	157.20	167.89	0.172	38.46

	米国 円/ドル	ドイツ 円/ユーロ	韓国 円/ウォン	中国 円/元
2012年度	78.60	98.30	0.069	12.42
2014年度	104.04	137.74	0.101	16.88



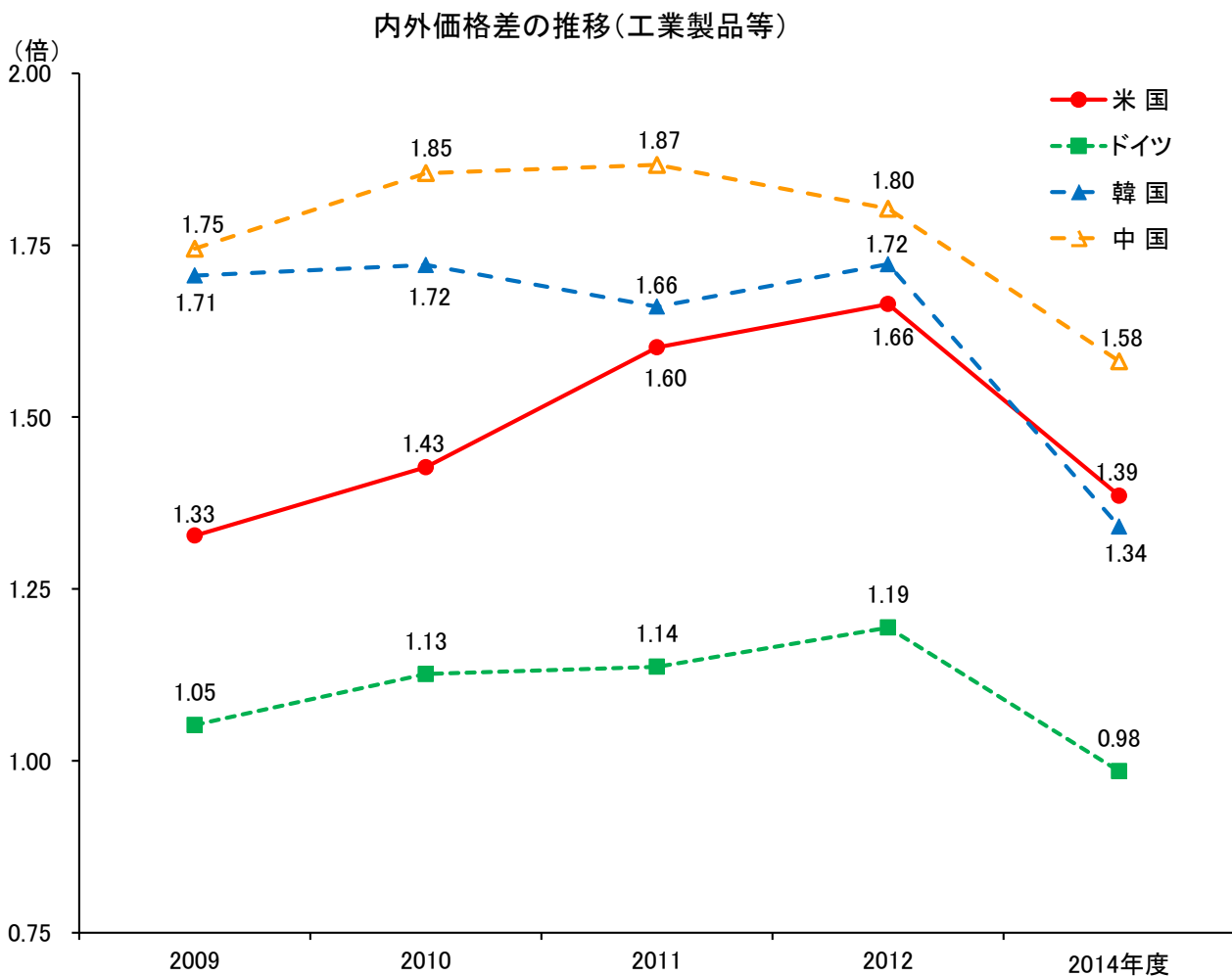
### (3) 内外価格差の推移(工業製品等)

—工業製品等の内外価格差は、4か国いずれの国においても縮小し、韓国で大きく縮小。—

工業製品等の内外価格差を前回と比較すると、4か国いずれの国においても縮小し、特に韓国では▲0.38ポイントと大きく縮小した。  
また、購買力平価は、4か国いずれの国においても減価している。

	米国	ドイツ	韓国	中国
2012年度	1.66	1.19	1.72	1.80
2014年度	1.39	0.98	1.34	1.58
差	▲ 0.28	▲ 0.21	▲ 0.38	▲ 0.22

	米国	ドイツ	韓国	中国
2012年度	130.83	117.35	0.120	22.39
2014年度	144.16	135.65	0.136	26.69



(4) 内外価格差の推移(産業向けサービス)

— 産業向けサービスの内外価格差は、4か国いずれの国においても縮小。 —

産業向けサービスの内外価格差を前回と比較すると、中国で▲2.34ポイント、韓国で▲1.33ポイントとともに大きく縮小し、他の2か国も縮小した。  
 購買力平価は、中国、韓国で増価している。

	米 国	ドイ ツ	韓 国	中 国
2012年度	2.25	2.24	3.71	5.92
2014年度	1.74	1.65	2.38	3.58
差	▲ 0.51	▲ 0.59	▲ 1.33	▲ 2.34

	米 国	ドイ ツ	韓 国	中 国
2012年度	177.13	220.41	0.257	73.49
2014年度	181.46	227.87	0.241	60.35

